

映像のコンセプトを的確に伝えるための編集方法と 情報発信力を高めるための Web サイトのレイアウト

金沢工業大学 情報フロンティア学部メディア情報学科 教授 松下 裕



私の専門分野を申し上げますと、感性評価手法の開発というのを主にやっております。1つは、感性情報処理、データ解析、そういうことを使って映像を編集するときの効果がどのくらいあったのかというテーマです。もう1つは、アイトラッカーという、人が物を見ている時、目がどんなふうに動いたか計測する機械を用います。Web サイトを見ている時、すごく疲れやすいサイトはどんな形なのか、どんなふうに見ているから使いやすくなるのか、というテーマです。どちらも学生と一緒に研究をやっています。

映像の研究というのはなかなか無く、今学生と一緒に我々がやっているのは、プロのアーティストの方から見ると稚拙な研究かも知れません。パイオニア・フロンティア的な研究だと思っていただければ幸いに存じあげます。

1. 統計学に基づく映像編集効果の分析

(1) ストーリーの時系列逆転の効果

時系列どおりにストーリーを出す場合と、結論を先に見せてそれからその原因は何だったのかという見せ方があります。交通安全のCMコンテストの映像を見せて実験しました。交通事故の悲惨さを強調して伝えたいなら、ナレーションを抜いた方が良いです。免許を持っていない人に対しては、回想シーンを出して、最後に事故を起きたところを見せて、それもナレーション無しでやった方が、伝わる可能性があることが分かりました。

(2) ショット交錯の繰り返し効果

いろんなショットの交錯が長くなると退屈になるのか、あるいはある程度やった方が、なんとなくその映像のコンセプトが伝わるのか実験しました。被験者は、3回、4回と映像を見せると、急に退屈を感じる人と、だんだん退屈を感じる人に分かれます。それから、3回、4回で急に退屈を感じる人は、そこで退屈を感じていたのに、さらに交錯すると、映像コンセプトを味わう気が失せます。それは前に退屈を感じていたことが呼び起こされ、増幅されて起きることが分かりました。

(3) 回想シーンの強調とBGMの効果

回想シーン(思い出のシーン)を強調するとどんな効果があるのでしょうか。あるいはBGMというのはいくらほど映像に対して効果を持っているのでしょうか。金沢を紹介するプロモーションビデオを見せて実験しました。ビデオのコンセプトは「懐かしさに会える街並み」「大人のオフタイム」です。結論として、次の3点が分かりました。①冗長感を無くすためには、ナレーションを加えた方が良いです。②面白さを高めるためには、テンポの遅いBGMが良

いです。③コンセプトを理解するためには、ナレーションとセピアのシーンを加え、さらにテンポの遅いジャズを選択すれば良いです。

さらに、これは私の所見ですが、1分程度の紹介ビデオを作るときには、次のようなことが大事です。①コンセプトを明確にして、1回の視聴でも伝わるようにします。②ストーリー展開(起承転結)を設けて、繰り返し見ても飽きないようにします。このとき、視聴者にちょっとした「驚き」や「感動」を与えたいです。③繰り返しの視聴によって、製作者のこだわりが浮き出てくるような細部の工夫が欲しいです。④BGMの効果は極めて大きいです。⑤映像の中に「サビ」の部分の部分を設けて、これは先程の映像でいうと、セピアですが、印象に残るようにします。これは歌謡曲と同様かなと思っています。

(4) 吹き出し字幕の内容理解に対する効果

吹き出し字幕という字幕の与え方が最近ありますが、それは内容を理解させる時に意味があるのでしょうか。対話形式で商品機能を説明するCMで実験しました。吹き出し字幕に音声を加えると、違和感を与えることなく内容の理解を助けることができます。その原因としては、吹き出し字幕に音声を加えると文字の大きさ感が増加することが挙げられます。

2. 視線データに基づく Web サイトデザイン

(1) スライドショーが情報検索に与える影響

画面のメインビジュアルで画面が、すっ、すっ、と変わるスライドショーというのは果たして、何か探す時に邪魔になっていないのでしょうか。それとも効果があるのでしょうか。スライドショー周辺にメニューを置くと、情報を検索するとき必ずスライドショーに視線が誘導されてしまい、遠回りする可能性が出ます。スライドショー周辺にメニューを置いてはいけないということです。

(2) 絵文字(ピクトグラム)が情報検索に与える影響

絵文字でリンクを与えると、人は発見しやすくてリンクのボタンを押しやすくなるのでしょうか。結論は、①絵文字に文字を併記するとボタンに早く気付きます。②リンクボタンを押す人を増やすには、日本語の併記が必要です。③リンクボタンをすぐに押させるには、無駄な視線の文字を無くし、文字を読ませることが肝で、文字を大きくして端的な用語にすることです。

本日はご聴講ありがとうございました。

平成 30 年度石川県視聴覚教育協議会の活動について

石川県視聴覚教育協議会は、本県の視聴覚教育の振興発展に寄与することを目的とし、県及び市町教育委員会の視聴覚教育担当部局をもって組織され、視聴覚教育に関する研究奨励及び指導者研修、学習情報の交換のための事業等を行っています。

平成 30 年度の活動内容を紹介します。

平成 30 年度総会・視聴覚セミナー

○平成 30 年度 役員一覧

会 長	平 聖一郎	石川県立生涯学習センター館長	監 事	山崎 京子	野々市市	
副会長	松本 季之	金沢市教育プラザ地域教育センター所長	“	甲野 朋美	内灘町	
理 事	三枝 敦	七尾市	参 与	篠原恵美子	石川県教育委員会生涯学習課長	
“	亀田 秋乃	小松市	事 務 局	事務局長	石野 周	生学セ・学習情報グループリーダー
“	河崎 完	珠洲市		事務局員	北原 真吾	生学セ・学習情報グループ
“	佐野 香	川北町		“	吉田 樹人	“
“	中西恵里子	石川県教育委員会生涯学習課				

平成 30 年 6 月 15 日（金）、石川県本多の森庁舎において平成 30 年度総会が開催されました。

総会では、議長に能美市の西田耕平氏を選出し、議案審議の結果、平成 29 年度事業・決算及び平成 30 年度事業計画・予算案が承認されました。

総会に引き続き視聴覚セミナーとして、金沢工業大学 情報フロンティア学部メディア情報学科の松下裕教授による講演「映像のコンセプトを的確に伝えるための編集方法と情報発信力を高めるための Web サイトのレイアウト」を実施しました。



情報技術活用研修会

各市町において実施される、「IT 講習」等の情報技術活用を目的とする研修会です。

平成 30 年度は、次の 3 市で実施されました。

実施主体	研 修 会 名 (内 容)	開催日(期間)	場 所	受講者数 (延べ)
金 沢 市	PC スキルアップ研修 (市内小・中・高等学校、保育園等の教職員のエクセルの研修)	平成 30 年 6 月 13 日 ～7 月 4 日	金沢市 教育プラザ富樫	84 人
小 松 市	芦城公民館 パソコン教室 (パソコン初心者の方の市民対象のワード、エクセル等の講座)	平成 30 年 6 月 12 日 ～12 月 25 日	小松市 芦城センター	169 人
羽 咋 市	パソコン講習会 (一般市民【主に高齢者】のワードでの年賀状作成等)	平成 30 年 11 月 30 日	羽咋市 千里浜公民館	2 人

ICT (情報技術) 活用講座

当協議会が、市町や学校の視聴覚教育担当者、公民館・図書館職員などを対象に行う講座です。

第 1 回「学び直してスキルアップ！ Microsoft®Word2013 使いこなし講座」

開催日時：平成 30 年 11 月 13 日（火）9:30～16:30 会 場：県立生涯学習センターパソコン室
講 師：Office アシスタ 山川 広美 氏 参加者：公民館職員等 7 名

参加者からは、表の作成など勉強になった、とても分かりやすい講義だった、疑問点が解決できた、などの声をいただきました。

第 2 回 講演会「ビギナーから一歩踏み出す映像制作～後世に残す映像づくり～」

日 時：平成 31 年 3 月 1 日（金）15:00～16:30
会 場：県立生涯学習センター教室 1
講 師：金沢学院大学芸術学部芸術学科准教授 越田 久文 氏
参加者：教員等 20 名

CM や番組制作プロデューサーとして長年勤務し、現在は大学で講義する経験を生かした、映像制作に参考となる講演で、小学校の閉校記録映像を制作中の方や、ビデオ愛好家の方など、熱心に耳を傾けていました。

県民映像カレッジ

広く一般県民の皆さんに、映像作品制作に興味をもってもらい、ビデオの撮影・編集の技術を学んでいただく講座です。(石川県民大学校 教養講座)

なお、この講座は、生涯学習センタービデオクラブ(SVC)の協力のもと実施しています。

場 所：県立生涯学習センター県民大学校教室ほか

講 師：岡野 重和 氏、西上 章 氏

ほかSVC会員の皆さん

開催日：A 日程…平成 30 年 6 月 23 日～ 7 月 21 日の間の 5 日間

B 日程…平成 30 年 9 月 22 日～10 月 20 日の間の 5 日間

時 間：13:30～16:00 (4 日)、10:00～12:00 (1 日)

参加者：A 日程…8 名、B 日程…5 名



(撮影風景)



(編集風景)

カメラワークの基本といった撮影技術の基礎から、作品構成の基本的ルール、編集における絵つなぎのルール、編集ソフトの操作方法といったものを、作品制作を通じて学んでいただきました。

受講生たちは、講師による講義を受けた後、サポートスタッフであるSVC会員の指導のもと、あらかじめ示されたシナリオに基づき撮影とパソコンでの編集作業を行い、映像作品づくりの課題に取り組みました。

最終日には完成した作品を、サポートスタッフを含めた全員で鑑賞し、講評を行いました。受講生は、講師をはじめスタッフの皆さんから、たく

さんのアドバイスを受け、充実した講座になりました。

受講された皆さんが講座の成果を発揮し、地域の映像記録に力を発揮され、多くのビデオ作品が制作されることを期待します。

全国大会レポート

第 22 回視聴覚教育総合全国大会・第 69 回放送教育研究会全国大会合同大会 (広島大会)に参加して

石川県立生涯学習センター 学習情報グループ 専門員 吉田 樹人

平成 30 年 11 月 16 日・17 日の両日、広島市映像文化ライブラリー、広島国際会議場において第 22 回視聴覚教育総合全国大会・第 69 回放送教育研究会全国大会合同大会(広島大会)が開催されました。

1 日目は、広島市内中心部にある、広島市映像文化ライブラリーの施設見学に参加しました。世界最初の被爆都市であり、国際平和文化都市を目標とする広島市で、地方自治体としては初めて、日本映画等の収集・保存・上映、音楽資料の収集・保存を行う専門施設として、昭和 57 年に開館しました。定温定湿の収蔵庫と 169 席のシアターを備えており、35mm フィルムの劇場公開作品を中心として上映会等をほぼ毎日に行い、活発な活動がなされていました。

2 日目は、広島国際会議場で行われました。ワークショップでは、全視連の研究プロジェクトの成果が紹介された後、視聴覚センター・ライブラリーが「地域における学びに役立つメディアサービスを行う」地域メディアセンターとなるにはどうあるべきか、協議しました。また、実践発表では、広島市映像文化ライブラリーから「子どもを対象にした事業への取り組み」、日立市視聴覚センターから「小学校における映像制作学習支援と地域映画会・特別映画会の開催」、新潟県阿賀町立上条小学校から「感性を育み知性を磨く機能と役割に期待する」について報告がありました。

学校では、ICT化の「知」の部分での活用が進んでいますが、視聴覚センター・ライブラリーは「情」の部分の成長(子ども・大人に関係なく)に映像を活用できる役割がある。フィルムは、前の世代のものを次の世代に伝えるために必要なものである。事業は継続していくことが成果に結びつき、人と人のつながりで事業は展開していくとのことでした。

映像は、映写機によってしか見られなかった時代から比べて、TV・DVD・インターネット・スマホでの視聴と全く環境が変わりましたが、フィルム映像は感性を育む役割があり、デジタル化などで残された映像をいかに保存活用していくか、メディアが多様化し、社会のICT化が進む中で、視聴覚センター・ライブラリーがその機能をいかに活用していくのか、問われていることが実感できました。

熱心な参加者による報告と協議に刺激を受け、視聴覚センター・ライブラリーがこれからどうあるべきか、考えるよい機会となりました。

平成30年度（第49回）いしかわビデオ作品コンクール

共催：石川県教育委員会
 後援：石川県小中学校視聴覚教育研究協議会
 石川県高等学校視聴覚教育研究会
 石川県社会教育協会／石川県公民館連合会
 募集期間：平成30年10月1日(月)から
 平成31年1月31日(木)まで
 募集部門：①教材部門、②一般部門の2部門

今年度は、①教材部門9作品、②一般部門6作品、計15作品の応募がありました。

審査会は、2月14日(木)13:30より、県立生涯学習センターにて行われました。4時間に及ぶ審査の末、右のとおり各賞が決定しました。

表彰式は、3月2日(土)15:00より、石川県本多の森庁舎2階第3会議室にて行われました。

約30名の出席者のもと、石川県視聴覚教育協議会、石川県教育委員会、石川県社会教育協会より、受賞者へ各賞の表彰状授与が行われました。

表彰終了後、各部門の講評並びに最優秀賞・優秀賞受賞作品の上映を行い、表彰式は終了しました。



教材部門 最優秀賞の表彰

受賞された皆様、おめでとうございます。

なお、受賞作のうち受賞者の了承を得られた作品については、石川県生涯学習情報提供システム「あいあいネット」で公開する予定ですので、ぜひご覧ください。

☆☆☆ 審査講評 ☆☆☆

今年のビデオ作品は、両部門とも社会性のあるタイトルが多く目につきました。そんな中、最優秀賞、優秀賞に選ばれた作品はストーリーの構成がテンポよくまとめられていたように感じました。特に、シーンとシーンのつながりが長くもなく、短くもなく程よい間があって、タイトルの内容に従っており、音声と共に魅力的に感じられました。一方、ビデオという手法を用いて作品を発表するビデオ作品コンクールでありながら静止画像や効果のおもしろさにエフェクトを多用した作品も目につきました。見映えのよさにこだわるのも表現の一つですが、このコンクールの趣旨であるビデオ撮影という動画の楽しさを見せてほしいと思う審査会でした。

審査委員長 棒田邦夫（金沢学院大学芸術学部教授）

審査委員

審査委員長	棒田 邦夫	金沢学院大学芸術学部教授
審査員	岡野 重和	生涯学習センタービデオクラブ幹事
"	中西恵里子	県教育委員会生涯学習課
"	平 聖一郎	県立生涯学習センター館長

審査結果

①教材部門		
最優秀賞 (石川県教育委員会賞)	能登高校の魅力発見	石川県立能登高等学校
優秀賞 (石川県社会教育協会長賞)	大聖寺高校学校紹介2018 ver.2	石川県立大聖寺高等学校放送部
奨励賞	旧金沢市上平小学校閉校物語～20年後のタイムカプセル開き～	藤平田 友市 (金沢市)
"	熱中症は危険！！2018	金沢市立工業高等学校2年学年団
"	鶴高 PV 2018	石川県立鶴来高等学校
②一般部門		
最優秀賞 (石川県教育委員会賞)	涅槃会 だんご作り	小屋 忠男 (金沢市)
優秀賞 (石川県公民館連合会長賞)	～その刻(とき)～ 忘れないために	山本 尚武 (金沢市)
奨励賞	アンコール遺跡を訪ねて	西上 章 (金沢市)
"	5M×7Mの青春	石川県立能登高等学校

===== 石川県立生涯学習センターからのお知らせ =====

石川県生涯学習情報提供システム「あいあいネット」で動画配信中！ぜひご覧ください。

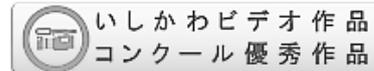
「昭和のいしかわ」を知る12作品



ふるさとモット学び塾



優秀作品を公開(一部)



☆「あいあいネット」へのアクセスは… <http://iinet.pref.ishikawa.jp/>もしくは で

(PC・スマートフォンでご覧ください)

お問い合わせ先 石川県立生涯学習センター学習情報グループ TEL 076-223-9573 FAX 076-223-9585